

商業科授業学習指導案

石川県立七尾東雲高等学校

指導日時・教室 平成21年11月18日(火) 5限目 教室名 26H教室
 対象生徒・集団 総合学科 2年生 26人
 科目名 原価計算 (単位数 4)
 使用教科書 原価計算 (出版社名 実教出版)

1 研究テーマ

(1) 研究テーマ 「学力向上のための指導の充実」 ～専門知識を活用する力の育成～

(2) 研究テーマ設定の理由

原価計算は商業科目の中でも特に専門性の高い科目である。単に製造業の簿記というだけではなく、原価管理から利益計画まで企業の経営方針にかかわる重要な内容を含んでいる。この科目を具体的に理解することで、原価計算から得られる会計情報を活用する力を養いたい。

2 単元(題材)名 原価計算の活用

3 単元(題材)の目標

- ・標準原価計算と企業経営の関連について知る。 【意欲・関心・態度】
- ・完成品と仕掛品の標準原価による計算方法を知る。 【知識・理解】
- ・原価差異の計算とその分析方法を理解する。 【技能・表現】
- ・原価管理がなぜ必要なのかを考える。 【思考・判断】

4 指導に当たって

(1) 生徒の状況

これまでに学習してきた実際原価計算に比べて、用語や概念が理解しづらい様子である。簿記実務検定の原価計算の出題分野でもあり、理解しようという意欲はある。抽象的な概念や用語については、何度も繰り返して解説することが大事である。前時の振り返りで生徒の理解状況を確認したい。

(2) 指導方針・方法

社会に出た生徒が、会社経営について積極的に考えることの大切さを指導したい。具体的には、原価管理によって入手したデータが経営にどう活用できるのか理解し、実際に役立つ力をつける。

まず、プロジェクタを利用して経営と原価管理の関連について視覚に訴えることで興味を持たせたい。また原価計算を学ぶことが、単に簿記の知識技術を学ぶことにとどまらず、経営判断に必要なデータを提供できる力を持つことになるという意義について強調する。

プロジェクタというメディアの特性を活かして、視覚に訴えながら、時間を効率的に使うことにより知識理解の向上を図る。さらに記帳演習を取り入れることで技能表現を身に付けさせる。教師による一方的な働きかけに終始しないよう、ところどころで発問を行い、生徒の発言を聞きながら授業を進める。

(3) 教材選定の理由

原価計算は、科目の特性上多くの記帳演習を行うことが大切となる。説明は板書が中心となり、板書量も多い。プロジェクタとパソコンを利用して授業を行うことで時間の効率的利用を図ることができる。また黒板と組み合わせることで、すぐに切り替えるものはスクリーン、常に提示したいものは黒板というふうに教材の長所のみを引き出すことができる。

普段通りにプリントによる記帳演習を行い、知識や技能の定着を図る。学習の振り返りに、教科書を用いることでさらに理解を深めることができる。

- 5 単元（題材）の指導計画（総時数 10 時間）
- 第一次 標準原価計算の意義・原価標準の設定 (2 時間)
 - 第二次 標準原価計算による完成品と仕掛品原価の計算 (1 時間)
 - 第三次 原価差異の計算と分析方法 (5 時間) . . . 本時
 - 第四次 標準原価計算の記帳方法（まとめ） (2 時間)

6 本時の指導と評価の計画 第三次（第1時）

(1) 本時のねらい

- ・直接材料費差異の計算・分析方法の理解 【知識・理解】
- ・記帳演習による計算・分析力の向上 【技能・表現】

(2) 準備・資料等 パソコン，スクリーン，プロジェクタ，記帳演習用プリント

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】（評価方法）
導入 8分	前時の復習 本時の活動の説明	原価標準による計算方法の確認。 学習の手順と分析結果の表現方法を知る。	製造勘定を用いて、計算の対象となるポイントを確認する。 分析結果の表現方法について板書する。	
展開 36分	生産データの整理方法 記帳演習	月初、月末、完成数量より当月投入量の導き方を理解する。 プリントの設問で生産データの整理と計算を行う。結果を発表する。	プロジェクタにより、計算方法を解説する。発問により計算結果を確認する。 プリントの記入状況を机間指導しながら確認する。また発問により解答を確認する。	差異分析の前提条件となる生産データの整理方法について理解しているか。 【知識・理解】 (発問)
		生産データの空欄部分に入る金額について発問する。解答を板書することで、確認を行う。		
	直接材料費差異の計算と分析	数量差異、価格差異の計算と分析を理解する。同時にプリントの記入を行う。	図を利用した計算および分析を提示し、解説を行う。発問により計算結果を確認する。	計算が正確に行えているかプリントへの記入状況から判断する。 【技能・表現】 (観察)
まとめ 6分	まとめ	プリントを完成させ、次時の内容について確認する。	教科書を読み合わせることで、本時のまとめをおこない、次時の内容について予告する。	